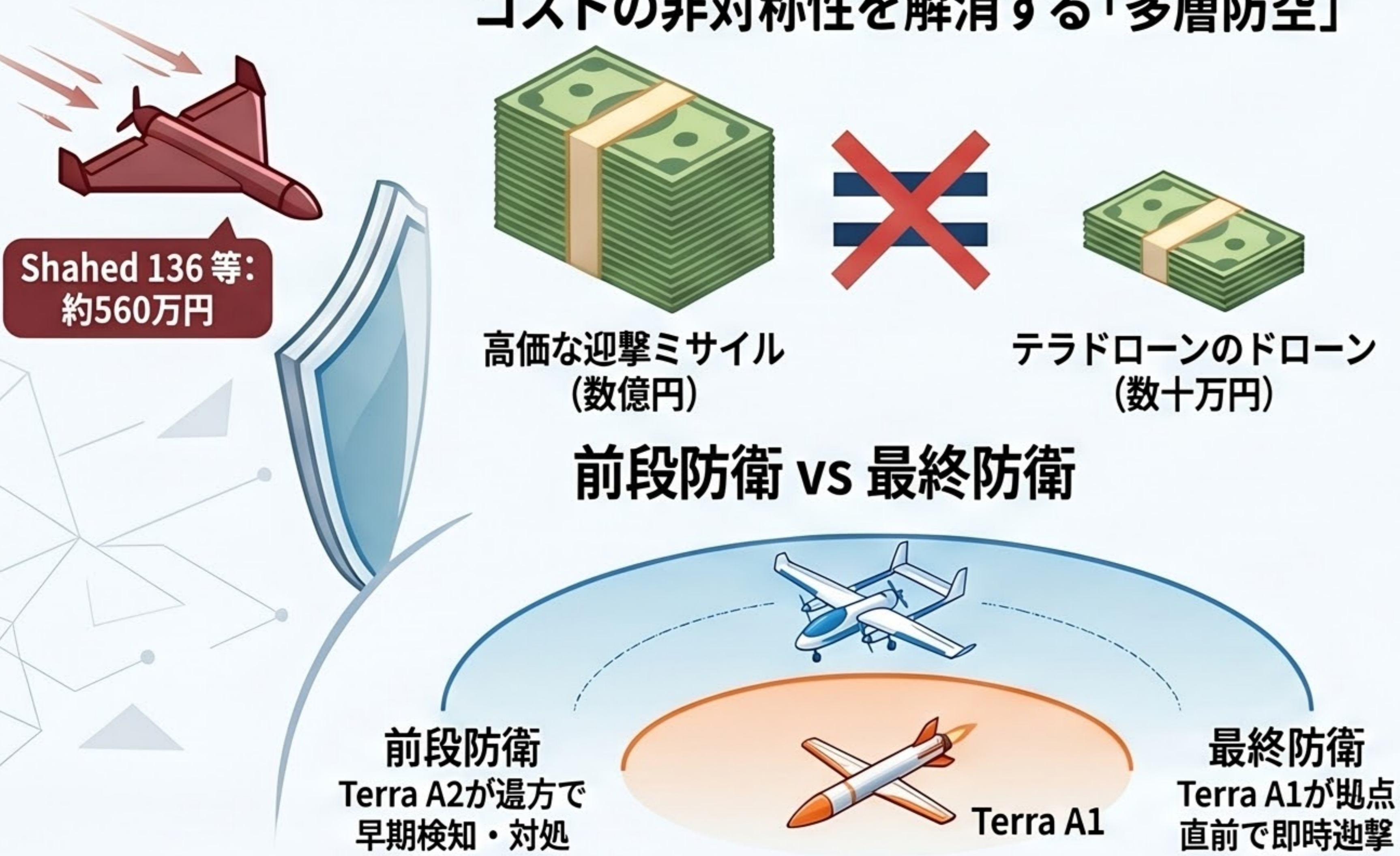


安価な脅威を安価に防ぐ：テラドローンのウクライナ多層型ドローン迎撃システム

コストの非対称性を解消する「多層防空」



主要機体のスペック比較：Terra A1 vs Terra A2

Terra A1：近距離・即応の「最終防衛」
Amazing Drones社と提携。ロケット型で
時速300km、拠点接近時に即時迎撃。

機体タイプ	ロケット型
最大速度	300 km/h
カバー範囲	32 km
飛行持続時間	15分
主な役割	最終防衛・拠点防護

Terra A2：広域・嗜成の「前段防衛」
WinyLab社と提携。電動固定翼型で、
75km広域カバーと40分飛行、早期対処。

機体タイプ	電動固定翼型
最大速度	312 km/h
カバー範囲	75 km
飛行持続時間	40分以上
主な役割	前段防衛・広域監視

圧倒的なコスト効率と実績

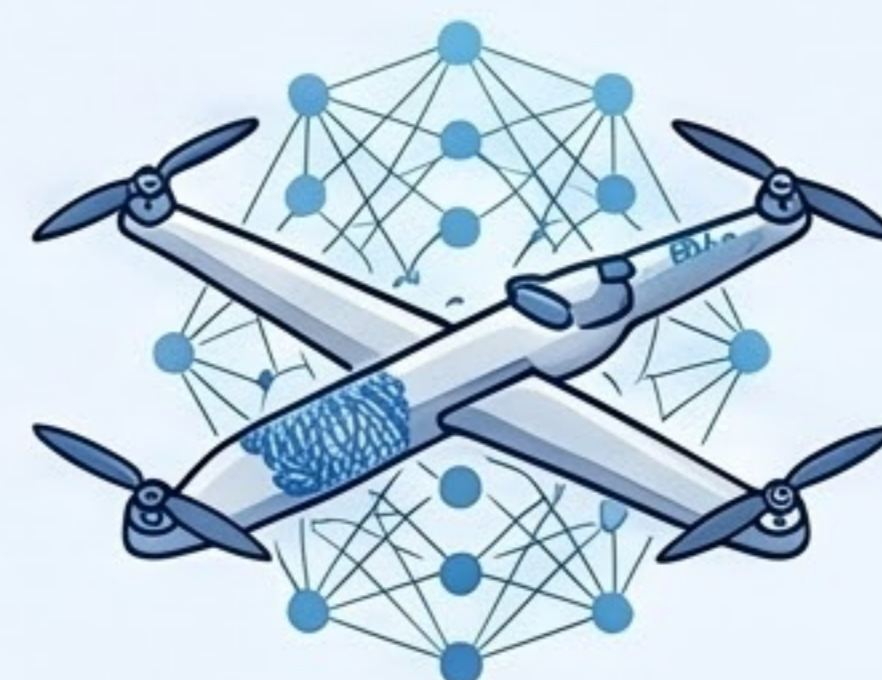
**Terra A1：
迎撃コストを約1/14に低減**



ウクライナでの実戦導入と量産

2026年4月実戦環境での対処能力確認済み。月間1,000機規模の生産体制へ。

次世代構想とグローバル展開



AI統合と自律化への進化
- AI自動追尾・自律交戦、衛
突型無力化へ。



次世代「ジェット推進型」の研究
- 最大速度440km/h、範囲140kmの
外側防衛レイヤー。



日本の防衛基盤強化への適用
- 政府「SHIELD」構想や継利された
輸出ルール背景にグローバル展開。